

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4072900303		
法人名	社会福祉法人長生会		
事業所名	グループホーム美鈴ヶ丘		
所在地	福岡県小郡市三沢5430		
自己評価作成日	平成23年3月12日	評価結果確定日	平成23年6月22日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成23年4月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の皆さんに毎日楽しく自分のペースで自由に過ごしていただき、ご自分の出来る事や得意な事をされることで自信を持っていただき、一人ひとりが毎日1回は主役になれる場面を提供しながら、皆さんに笑顔のある生活を送っていただくと共に、ホームで働く全職員が「私も入りたい」と思えるようなホーム作りを全職員で心がけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
61	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	68	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)		

自己評価および外部評価結果					
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1. 人格尊重 2. 礼節と尊敬の念を持ち接する 3. 地域住民との交流支援 4. 自己研鑽 以上の運営理念を持って業務を行っている。		
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域(小中学校や区)からイベントの招待を受けたり、事業所内での行事には地域の方を招待して交流を図っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議などで地域の代表者に、認知症介護の実践状況や支援方法をその都度報告している。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回地域の代表者、行政代表者に入居者の状況や、サービスの実際などを報告し、意見や提案を受け、より良いサービスが提供できるように活かしている。外部評価についても評価内容や実践状況を報告している。		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域運営推進会議の際や、必要に応じて電話連絡や市役所に伺い、その都度、事業所の状況やサービスの取り組みなどを伝えている。		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月例ミーティングで身体拘束について勉強会を行い、身体拘束をしないケアを職員一同で行っている。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束についての資料を常備しており、職員一同熟知している。市や県が開催する研修や講習会に参加している。		

福岡県 グループホーム 美鈴が丘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居時には、御家族や利用者に説明している。職員が制度の理解を深める為に研修会や勉強会に参加している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は重要事項の説明と共に、利用者、御家族の要望や疑問点を聞く機会を設けている。解約に際しても、話し合いの元、十分に納得を得られる様にしている。		
10	(7)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情受付窓口設置したり、重要事項説明書に相談窓口を記載して説明している。		
11	(8)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	週1回の週例ミーティングや月1回のフロアミーティング、合同の月例ミーティングを開催して話し合いの場を設けている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者と管理者、又職員が意見交換する場を適宜設けて、職場環境や条件の整備をその都度行っている。		
13	(9)	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用時あたっては性別や年齢にこだわらず採用している。採用後も能力が最大限生かせるようバックアップを行っている。		
14	(10)	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	運営理念を基に、入居者の人権を尊重し言葉使いやプライバシーに気を付けている。市や医師会や各事業所毎の研修や勉強会に参加している。		

福岡県 グループホーム 美鈴が丘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修や外部研修には参加している。研修終了後は、報告書を作成し全職員に閲覧出来る様になっている。ユニット・職員ミーティングを月1回行い自己研鑽に努めている。		
16		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の施設とは交流を図っている。同業者との他の施設見学の受け入れを行ない、情報交換も行いサービスの質の向上を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には、本人との面談を何回か行い希望や要望や不安な事などを聞き、安心して生活出来る様に信頼関係を築いている。入居後も話の機会を作っている。		
18		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時には、説明と対応を行い不安を除去出来る様に努めている。入居時には要望や対応についても定期的に話し合いの場を作っている。		
19		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族と話し合い、必要としているサービスを導入している。		
20		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の趣味や特技を活かし、生活を支援している。生活を送る上での知恵を教えている。		
21		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連絡をこまめに行っており、定期的受診や外出は御家族の方をお願いしている。季節毎の行事には、参加を促している。		
22	(11)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話連絡や郵便など出来る範囲で行っている。馴染みのある地域とのイベントなどに参加している。		

福岡県 グループホーム 美鈴が丘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	一人一人の性格を把握し孤立しない様、共 用の場を設け行事やレクリエーションを行っ ている。		
24		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も相談に乗り、また必要に応じ、その 方に合ったサービス(他の施設紹介)を紹介 させて頂いている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	日常生活の中で本人の考えや思いを聞き 取り、出来る限りの事を行っている。意思表 示が困難な方はご家族の方から聞き取りを 行っている。		
26		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	入居時に本人、御家族から話を聞いている。 以前に他の事業所に利用している方 は、その事業所より情報を得ている。		
27		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	個人個人に生活記録を記入している。また 日常生活の中でコミュニケーションを図り、状 態把握を行っている。		
28	(13)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	本人・御家族からの要望を尋ね、主治医の 意見も取り入れながら介護計画を作成して いる。		
29		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個人個人に記録を記入している。重要なこと は、申し送り帳を作っているのものでそれに記入 して各自目を通してしている。		

福岡県 グループホーム 美鈴が丘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急な要望にも本人や家族の希望に添えるように、出来る範囲で柔軟なサービス提供を行っている。		
31		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの美容室を利用したり、近所のスーパーに買い物にでかけている。また月に1回ボランティアが来られセラピーを受けている。		
32	(14)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する病院を受診していたが、ほとんどが入居前の病院をそのまま受診されている。		
33		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在事業所内には看護師は在籍していないが、法人内施設の看護師に相談して、助言や協力を得ている。		
34		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に入院先に訪問して、主治医、相談員、家族と連絡を取ると共に、本人が不安にならないよう面会し、早期に退院出来るように努め、退院後は安心して生活を送れるよう受け入れ体制を整えている。		
35	(15)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期が考えられる入居者に対して、家族の今後の考えを聞き、主治医の考えも参考にしながら方針を決めている。又必要に応じて他施設への紹介も行っている。		
36		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	希望者が救急救命講習等の研修に参加し、その内容をミーティングで全職員に教えている。又、急変時の対応マニュアルの周知徹底を図っている。		

福岡県 グループホーム 美鈴が丘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(16)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対応マニュアルを作成し、年2回昼間と夜間を想定した避難訓練を行い、1回は消防署の立会いのもと行っている。又、コルソスに近所の方を登録している。尚、運営推進会議などで有事の際の協力を呼びかけている。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティングで人格の尊重やプライバシーについての勉強会を行っている。又、職員全員で言葉かけには注意している。		
39		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ゆっくりとした口調で声かけを行い、目線を合わせて寄り添うことで信頼関係の構築に努めながら、何気ない言葉やしぐさを観察して、思いや希望を汲み取ることが出来る様に働きかけている。		
40		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	過去の生活暦や現在の生活の中から、入居者それぞれが出来る事や得意な事等を見つけて、その方のペースを尊重しながら支援している。		
41		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行事や外出の際は、職員が入居者と一緒によそ行き洋服を選び、おしゃれをしていただいています。又、月に1度の移動理美容で散髪されたり、本人の希望で近所の美容室にお連れしている。		
42	(18)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの根取りやおかずのつぎ分け、テーブルやお盆拭き等、それぞれの入居者が出来る事をしていただき、みんなで楽しく準備している。		
43		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が立てた献立を元に調理し、個別に減塩職や刻みやミキサーで対応している。又、水分確保として1～2時間おきに入居者全員にお茶を提供している。		

福岡県 グループホーム 美鈴が丘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状態に合わせた声かけや介助を行っている。又、夜間は義歯を預かり洗浄剤につけ清潔保持時に努めている。		
45	(19)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄記録をとって排泄パターンを掴み声掛けや誘導を行っている。		
46		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動や水分補給、服薬による調整、医療機関からの助言も取り入れている。		
47	(20)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決めているが、入る時間については本人が拒否されれば、無理にすすめず、後で入っていただく等、その方の意思を尊重している。		
48		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人が休みたい時にリビングや居室で自由に休んでいただいている。		
49		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効能については、薬の一覧表を作り把握している。又、必ず薬は手渡しして服用していただいている。		
50		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のコミュニケーションや生活歴からその方が出来る事や得意な事を見つけ出し、それを実行出来るように支援している。		

福岡県 グループホーム 美鈴が丘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物の希望があれば、一緒に買い物に出掛けて、買い物やドライブで気分転換を図っていただいている。又、定期的に外出行事を行っている。</p>		
52		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理が出来る方については、自分でお金を管理されているので、買い物などは本人が支払いをされている。</p>		
53		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話や手紙は自由に行っていただいている。必要に応じて介助している。</p>		
54	(22)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアやリビングには季節ごとにディスプレイを行い、季節感を出している。又、リビングにソファを置いて入居者同士がゆっくり会話やくつろげるようにしている。</p>		
55		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングには畳みのスペースやソファもスペース、椅子のスペースを設けているので、皆さん思い思いに過ごされている。</p>		
56	(23)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室担当者を中心に全職員で必要物品などを考え、本人・家族と相談しながら安全にリラックス出来るような居室作りを行っている。</p>		
57		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手摺の設置は勿論のこと、入居の目線に立ち入居者が使用するものは、手の届く位置に設置している。</p>		